

専門書
教育関係者、
各種スポーツ
指導者

戦後食糧難の時代にいち早く健康生活の実践と運動の重要性を打ち出した昭和二〇年代の「保健体育」に関する指導書を集成

体育・スポーツ書集成

民和文庫研究会編

企画・編集責任者 中村民雄 (福島大学名誉教授)
石井隆憲 (日本体育大学教授)

第I回 戦後保健体育指導書 全七巻



クレス出版

体育・スポーツ書集成 第I回 『戦後保健体育指導書(全七巻)』の刊行について

民和文庫研究会代表(福島大学名誉教授) 中村 民雄

次期の学習指導要領(小学校は二〇二〇年度から、中学校は二〇二二年度から全面実施。高等学校は二〇二二年度から年次進行)は、「心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することを重視する観点から、運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等を育成する」ことを、保健体育科の目標に掲げている。

そのことは、「習得した知識や技能を活用して課題解決することや、学習したことを相手にわかりやすく伝えること等に課題があること」、「運動する子どもとそうでない子供の二極化傾向がみられること」、「健康課題を発見し、主体的に課題解決に取り組む学習が不十分であり、社会の変化に伴う新たな健康課題に対応した教育が必要」であるという課題意識から、現行の学習指導要領を一步前に進める内容となっている。また、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えて、その成果を引き継いでいく観点から、中学校では「知識に関する領域において、オリンピック・パラリンピックの意義や価値等の内容等について改善を図る。」ことが謳われ、高等学校では「ドー

ピング」の問題にまで踏み込んだ内容の改善を求めている。

ところで、学習指導要領は文部省「告示」として基準性を明確にしてから、今回の改訂で七回目となる。それ以前、終戦直後から新しい方向性を模索していた昭和二〇年代はすべて「(試案)」という文言が付されていた。そうした戦後の混乱した状況や食糧難の時代に、健康生活の実践を重んじた「保健」と、運動による人格形成をめざした「体育」とを合わせて「保健体育」という教科が立ち上った。保健体育科の目標の第一義である「健康の保持増進」は、一九四六年九月三日に始まった学校給食に、脱脂粉乳をお湯で溶かし味付けされたミルクによって支えられてきたともいえる。

今回の『体育・スポーツ書集成 第I回・戦後保健体育指導書』は、戦後食糧難の時代にいち早く健康生活の実践と運動の重要性を打ち出した昭和二〇年代の「保健体育」に関する指導書を集めた。

今日では、戦後一時期のような絶対的貧困はみられないが、朝ご飯を食べずに学校へやってくる、給食が唯一の栄養源という「相対的貧困」が社会問題化している。また、全体的な体力の低下傾向には歯止めがなかったが、体力の二極化は依然として続いている。そんな時代だからこそ、脱脂粉乳を飲みながら「健康の保持増進」を高らかに謳いあげてはじまった昭和二〇年代の保健体育をもう一度見直し、そこから底辺を下支えする「健康の保持増進」の重要性を再確認し、オリンピック後のレガシー(遺産)として次代の子ども達へのメッセージにしてほしい。

第I回 戦後保健体育指導書 全七巻

〔第一巻〕 学校体育指導要綱

小学校・中学校 体育指導の手引

● 学校体育研究同好会／一九四八年／学校体育研究同好会
【内容】第一章 総論、第二章 小学校体育科の学習指導、第三章 中学校体育科の学習指導
● 野口源三郎／一九四八年／国民教育社

【内容】第一章 体育の目的、第二章 体育の目標、第三章 発育発達の特徴と教材、第四章 指導方針、第五章 体育の調査と測定、第六 体育理論、第七 児童の好む遊戯、第八 中学生の好むスポーツ、第九 女学生の好むスポーツ

学校体育指導要綱

● 文部省／一九四七年／日本書籍
【内容】はしがき、一 体育の目的、二 体育の目標、三 発育発達の特徴と教材、四 指導方針、五 体育の調査と測定

〔第二巻〕 新小学校体育

新小学校体育(上・下)

● 東京理科大学体育研究室編／一九四八年／教育科学社
【内容】第一章 総論、第二章 体操、第三章 遊戯、第四章 球技、第五章 水泳、第六章 ダンス、第七章 衛生

〔第三巻〕 新中学校体育

新中学校体育(上・下)

● 野口源三郎／一九四八年／教育科学社
【内容】第一篇 総論、第二章 体育科の目的、第三章 中学生の身心の発達、第三章 体育科の教材、第一篇 学習の指導(第一章 学習指導法、第二章 課外体育、第三章 体育科の調査)、第三篇 運動教材の解説(第一章 徒手体操、第二章 器械体操、第三章 陸上競技、第四章 球技、第五章 水泳、第六章 ダンス)

〔第四巻〕 小中学校の保健教育

中等学校保健計画実施要領(試案)

● 文部省／一九四九年／大日本図書
【内容】緒言、第一章 序論、第二章 健康に適した学校環境、第三章 健康に適した学校生活、第四章 学校保健事業、第五章 健康教育、第六章 結論

中学校の健康教育

● 荷見秋次郎・下田 巧／一九四九年／牧書店

【内容】まえがき、第一章 中学校の保健計画と健康教育、第二章 中学校の健康教育のあり方、第三章 中学校の健康教育指導者の任務、第四章 中学校の健康教育の年間計画、第五章 中学校の健康教育の内容、第六章 中学校の健康教育技術、第七章 中学校の健康教育の評価法

小学校保健計画実施要領(試案)

● 文部省／一九五一年／北陸教育書籍

川の中央に位置して順位を判定する。(図I)

II. この方法とほぼ同様であるが、出発線が異なることとし、最後の走者は出発線を通して円心に達し、原料の上にバトン置く。(図II)

○ 指導上の注意

- 受け渡しの方法は、はじめ手をふれ合って行ってもよいが学年の進むにつれてバトンを使用する。
- 漸次、バトンゾーンをつくるがよい。

○ 用具 バトン、小旗、腰掛け

川とび競争

○ 隊形 自由または一列縦隊。
○ 方法 図のような川を、自由または縦隊で上流から下流へ順次とびこす。最初ごく自然にとびせ、進んでくれば片足とび・両足とび・またぎとびなどの方法ととびせせる。

○ 指導上の注意

- 直線の川でもよい。
- とどろきなどに川幅をしるして自己の能力を知らせる。
- しだいに、助走とか、両足をそろえての着地を学ばせる。この際は砂

撃のできるように練習しよう。防禦の仕方には地域防禦(ゾーンディフェンス)と、対人防禦(マンツーマンディフェンス)の方法がある。前者は自分の動く範囲を決めて、5人が一体となって守る方法で、後者はそれぞれ自分の相手を決めて、責任をもってそれを守る方法で、二つの方法をチームの特性に応じて適当に用いよう。

基礎練習にはどんなものがあるか

上手に試合をするには、ボールを上手に扱う技術が必要である。速さ、正確さなどはその例で、これらの外に身体の動作の敏しさと競技時間内十分耐えられる持久力が必要である。わたくしらは常にボールを持って基礎練習を行い技術を身につけて、種々の補助運動を行って体力を養おう。

パスとキャッチ

球技の一番基本となるものであるから、つき指をしたり相手にぶつかったりしないように注意して、片手、両手のパス、肩から、胸から、下から強く弱く、受ったパスの練習をしよう。パスは何時も相手を見てその方向を見て、相手のキャッチすることのできる距離のものをおく、動いている相手は前方を目標としておく。キャッチは腕の力を抜いて軽く伸ばして体を動かさず、指を動かしてボールの強さに応じて腕を引いて取るようにしよう。

ドリブル

ドリブルを行うときは常に次の動作を考えて行うことが大切である。腕を低くしていつも四方に目をくばりながら指の間を開いてやる方法、ボールを高く前方にはずませて歩幅を広く行う方法など、いつでもパスやシュートができるようならだの用意をしなければならない。

遊泳

の場合、物や人にささえられたり、また砂浜や浅い所などで、呼吸や腕や脚の動作などを個々に取り出して練習させるとよい。技術の上達には、それぞれの泳法の正しいフォームに導くことがたいせつである。

図解による指導

第1図 初歩の練習

第2図 クロール(遊泳)

第3図 横泳ぎ

第4図 蛙泳と平泳ぎ

第5図 とび込み

第Ⅰ回 戦後保健体育指導書 全七巻

尾川 翔大 解説

- 第一巻 学校体育指導要綱
定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-976-0
- 第二巻 新小学校体育
定価 16,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-977-7
- 第三巻 新中学校体育
定価 14,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-978-4
- 第四巻 小中学校の保健教育
定価 13,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-979-1
- 第五巻 学習指導要領—小学校
定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-980-7
- 第六巻 学習指導要領—中学・高校
定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-981-4
- 第七巻 学習指導要領—体育科編
定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-982-1
- 揃定価 93,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-983-8

第Ⅱ回 戦後学校武道指導書 全五巻

矢野 裕介・坂本 太一 解説

- 第一巻 学校柔道 (1)
定価 17,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-984-5
- 第二巻 学校柔道 (2)、学校弓道
定価 15,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-985-2
- 第三巻 境競技
定価 11,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-986-9
- 第四巻 学校剣道 (1)
定価 10,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-987-6
- 第五巻 学校剣道 (2)
定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-988-3
- 揃定価 66,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-989-0

A5 判/上製函入/クロス装/C3337

第1回 2017年6月25日刊行

第2回 2017年11月25日刊行

クレス出版 好評既刊書 (定価はすべて税別)

戦後の新しい学習指導要領のもとで、どのような試みがなされ、どのような成果を残してきたか——、現代の体育授業の改善へ、手がかりとなる資料を「理論」と「実践」に分けて復刻

戦後体育実践資料集 全4巻

岡出 美則 編・解説

- 第1巻 指針としての指導書、解説書 定価 28,000 円 ISBN978-4-87733-957-9
- 第2巻 カリキュラムの開発 定価 19,000 円 ISBN978-4-87733-958-6
- 第3巻 実践展開に向けた示唆 定価 20,000 円 ISBN978-4-87733-959-3
- 第4巻 実践を語る 定価 26,000 円 ISBN978-4-87733-960-9

揃定価 93,000 円 ISBN978-4-87733-961-6 (セット)



戦後体育学習指導資料集 全7巻


岡出 美則 編・解説

- 第1巻 師範体育、体育のカリキュラム 定価 16,000 円 ISBN978-4-87733-896-1
- 第2巻 新しい小学校 体育学習の指導 定価 10,000 円 ISBN978-4-87733-897-8
- 第3巻 体育の学習指導 小学校篇 上巻 定価 12,000 円 ISBN978-4-87733-898-5
- 第4巻 体育の学習指導 小学校篇 下巻 定価 14,000 円 ISBN978-4-87733-899-2
- 第5巻 体育の学習指導 中等学校篇 上巻 定価 10,000 円 ISBN978-4-87733-900-5
- 第6巻 体育の学習指導 中等学校篇 下巻 定価 16,000 円 ISBN978-4-87733-901-2
- 第7巻 小学校体育の学習指導 定価 14,000 円 ISBN978-4-87733-902-9

揃定価 92,000 円 ISBN978-4-87733-903-6 (セット)



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎ (03) 3808-1821 ㊚ (03) 3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

 株式会社クレス出版

●書店名

